

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和06年11月26日

計画の名称	被災地域を災害に強い安全なまちによみがえらせる復興まちづくり（Ⅱ期）（防災・安全）													
計画の期間	令和02年度 ～ 令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当			
交付対象	広島市													
計画の目標	平成26年8月に発生した広島豪雨災害で被害が大きかった地域について、防災に有効な都市基盤施設整備を集中して行うことで、被災地の早期復興に寄与し、災害に強く安全・安心に暮らせるまちの実現を目指す。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		8,240	A	8,240	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	R6末
1	本市が策定した「平成26年8月20日豪雨災害復興まちづくりビジョン」で位置付けた、被災地域内の広域避難路（都市計画道路）の整備を、集中復興期間での整備に引き続き、5年間の継続復興期間で行い、さらなる防災機能の向上を図る。			
	本市が策定した「平成26年8月20日豪雨災害復興まちづくりビジョン」で位置付けた、被災地域内の広域避難路（都市計画道路）の整備率	46%	59%	100%
	被災地域内の広域避難路（都市計画道路）の整備率（％）＝被災地域内の広域避難路（都市計画道路）の改良済み延長/被災地域内の広域避難路の計画延長			

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-001	街路	一般	広島市	直接	広島市	S街路	改築	長東八木線（6工区）ほか1路線	道路改良 L=1.7km	広島市	■	■	■	■	■	8,240		—	
												小計						8,240		
											合計							8,240		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03	R04	R05	
配分額 (a)	657	520	687	785	
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	657	520	687	785	
前年度からの繰越額 (d)	0	597	537	529	
支払済額 (e)	60	580	695	844	
翌年度繰越額 (f)	597	537	529	470	
うち未契約繰越額(g)	480	20	113	50	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	73.05	1.79	9.23	3.8	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により用地交渉が困難となり、契約に至っていないため				

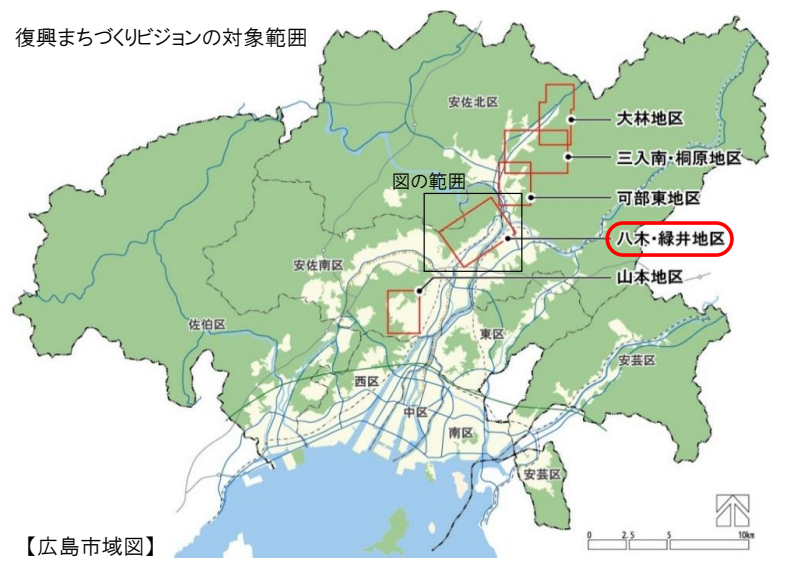
事前評価チェックシート

計画の名称： 被災地域を災害に強い安全なまちによみがえらせる復興まちづくり（Ⅱ期）（防災・安全）

[illegible]

計画の名称	被災地域を災害に強い安全なまちによみがえらせる復興まちづくり(Ⅱ期)(防災・安全)		
計画の期間	令和2年度 ～ 令和6年度 (5年間)		交付対象 広島市 (広島市)

復興まちづくりビジョンの対象範囲

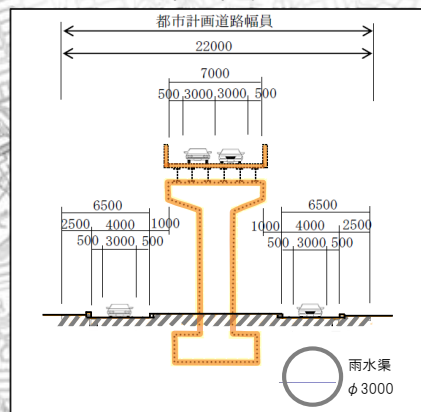


八木・緑井地区

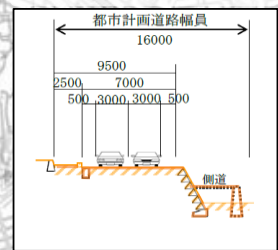
A1

長東八木線ほか1路線
L=1.7km

川の内線 標準断面図



長東八木線 標準断面図



【 凡 例 】

- 砂防堰堤[国]
- 砂防堰堤[国]市からの要望
- 都市計画道路
- 都市計画道路(整備済区間)